

学校名	宮崎県立高鍋農業高等学校
-----	--------------

平成30年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

1 研究開発課題名

新たな時代の変化に対応できる次世代農業経営者及び関連産業技術者の育成に関する研究
～ みやざきの発展を担う起業家スピリットとスキルを備えた人材育成を目指して ～

2 研究の目的

新たな時代の変化に対応できる次世代農業経営者及び関連産業技術者の育成について、本校の目指す人材像をリンクさせた様々な具体的な取り組みを実践することにより、これからのみやざきの農業や関連産業の中核となる担い手を数多く輩出することを目的とする。

3 実施期間

契約日から平成31年3月15日まで

4 当該年度における実施計画

(1) 研究内容

1) 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発

各農場におけるGAP教育の推進と、農場における安全・安心な農業学習に関する研究に取り組む。また、農畜産物のブランド化を目指し、デザイナーを交えた「高農デザインプロジェクト」学習をとおした農畜産物の付加価値向上と新商品開発のスキルを身に付けさせる。

(ア) 農場における安全・安心な農業学習に関する取組

- ・ひなたGAP認証取得
- ・GAP教育と農場HACCP教育の推進
- ・地域企業と連携した環境と調和の取れた持続可能な農業学習の実践

(イ) 農産物の付加価値向上と新商品に関する取組

- ・商業科目「商品開発」の実践と指導 → 加工品の製品化と販売
- ・食品乾燥技術を活用した新商品の開発
- ・本校及び地域の農産物を使った新たな価値創出と加工品作り

(ウ) 農畜産物のブランディング「高農デザインプロジェクト」

2) 模擬株式会社「高農」の設置と経営実践

模擬株式会社「高農」の設置と企画運営を目指し、行政書士など専門家との相談を重ね、進行スケジュールを設定する。その上で、社長を中心に経営戦略会議を開催し、生徒の豊かな発想を色濃く出した企画・運営に取り組む。また、フードビジネスに対応したICTを活用

用した栽培管理と原価生産管理の継続研究と高鍋農業高校販売所を活用した流通・販売学習に取り組む。

(ア) 模擬株式会社「高農」の設置と企画運営

(イ) フードビジネスに対応したICTを活用した栽培管理と原価生産管理の継続研究

(ウ) 高鍋農業高校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践と研究

3) 関連上級学校や地域との連携や寮教育をととしたキャリア教育の充実

連携協定を締結している大学や農業大学校とのコンソーシアム方式によるプロジェクト学習や共同研究を推進する。デュアルシステムの継続研究に取り組み、教育効果の測定を行い、各学科での導入に向けた検証を行う。夢実現プログラムに基づくキャリア教育を実践し、郷土愛の醸成を図る。

(ア) 関連上級学校との共同研究及び連携推進

・コンソーシアム方式によるプロジェクト学習

(イ) デュアルシステムの継続研究

(ウ) 夢実現プログラムに基づくキャリア教育の実践

○各事業による生徒及び職員の変容が見える化するための具体的評価方法の再検討を行う。

○研究の波及効果を高めるために、Webページの作成など積極的な情報発信に取り組む。

(2) 効果測定について

生徒、教師、保護者及び運営指導員からのアンケート調査（自己評価及び他者評価）や、記録簿・レポート等の作品及び資格取得状況などにより客観的に評価する。

定性目標及び定量目標 〈 定性目標及び定量目標の効果測定の方法 〉

実施した研究について、4段階で評価し2.8以上を目指す。

【評価者】

- ① 研究に参加した生徒による内部評価
- ② 研究に参加した関連機関（企業）による外部評価
- ③ 研究に携わった教師による内部評価
- ④ 運営指導委員会による外部評価

【評価基準】

- 4 とても満足
- 3 満足
- 2 あまり満足できない
- 1 満足できない

1) 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発

	研究開発内容	定性目標の評価項目	定量目標の評価項目	効果測定
流通・販売の分析と新商品開発	(ア) 農場を核とした安全・安心な農業学習に関する取組 ・GAPや農場HACCP教育の推進 ・環境と調和の取れた持続可能な農業学習の実践	●ひなたGAP認証取得に向けた取組はできているか ●環境に配慮した取組ができたか	●GAPや農場HACCPに対する生徒の理解度	・アンケート調査 ・生徒の満足度 ・観察法（行動、発言、実技）
	(イ) 農産物の付加価値向上と新商品に関する取組 ・商業科目「商品開発」の実践と指導～加工品の製品化と販売～ ・食品乾燥技術を活用した新商品の開発 ・本校及び地域の農産物を使った新たな価値創出と加工品作り	●本校農畜産物の品質が向上しているか ●新商品の開発、販売戦略の構築について、教材化できたか ●新商品ができたか ●チャレンジ精神や課題発見力を育成できているか	●生徒の理解度・満足度 4段階評価2.8以上	・作品法（ノート、レポート、プリント、成果物） ・連携先からの評価
	(ウ) 農畜産物のブランディング「高農デザインプロジェクト」	●ブランディングに対する興味・関心の向上	●生徒の理解度・満足度 4段階評価2.8以上	

2) 模擬株式会社「高農」の設置と経営実践

	研究開発内容	定性目標の評価項目	定量目標の評価項目	効果測定
会社経営参画意識の醸成と経営スキルの向上	(ア) 模擬株式会社「高農」の設置と企画運営	●模擬株式会社「高農」の設置・企画運営 ●経営戦略会議の実施 ●チャレンジ精神や課題発見力を育成できているか	●生徒の理解度・満足度 4段階評価2.8以上	・アンケート調査 ・生徒の満足度 ・観察法（行動、発言、実技） ・作品法（ノート、レポート、プリント、成果物）
	(イ) フードビジネスに対応したICTを活用した栽培管理と原価生産管理の継続研究	●ICTを活用した栽培管理と原価生産管理の実施 ●ICT活用への興味・関心を喚起できているか	●ICT活用に対する生徒理解度・満足度	・来校者の満足度
	(ウ) 高鍋農業高校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践と研究	●販売所の運営 ●市場調査の実施 ●消費者ニーズの理解	●販売所の稼働率 月2回以上	

3) 関連上級学校や地域との連携や寮教育をととしたキャリア教育の充実

	研究開発内容	定性目標の評価項目	定量目標の評価項目	効果測定
キャリア教育の充実と発展・人材育成	(ア) 関連上級学校との共同研究及び連携推進 ・コンソーシアム方式によるプロジェクト学習	<ul style="list-style-type: none"> ●関連上級学校とのコンソーシアム方式のプロジェクト活動が実施できているか ●宮崎大学や南九州大学との共同研究が実施できているか ●専門性を高めることができたか ●チャレンジ精神や課題発見力を育成できているか 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上 ●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査 ・生徒の満足度 ・観察法（行動、発言、実技） ・作品法（ノート、レポート、プリント、成果物） ・連携先からの評価
	(イ) デュアルシステムの継続研究	<ul style="list-style-type: none"> ●勤労観・職業観の育成「デュアルシステム」の継続実施 ●「デュアルシステム」の教育効果検証 	<ul style="list-style-type: none"> ●受入企業からの評価 ●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上 	
	(ウ) 夢実現プログラムに基づくキャリア教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ●寮教育を生かしたキャリア教育の実施 ●人材育成講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上 	

5 実施体制

(1) 事業実施体制

